

(Ref S6)



(ChatGPT への質問)

社会的処方とは何ですか？

(ChatGPT からの回答)

社会的処方（Social Prescribing）とは、医療だけでは解決しにくい心身の不調や生活上の困りごとに対し、病院の治療ではなく地域の社会的・文化的活動へ参加することを処方する仕組みの事です。英国などでは保険診療としても導入され、日本でも地域福祉分野で広がりつつあります。

1) なぜ必要なのですか？

うつ・孤独・認知症の悪化、生活習慣の問題などは、人間関係の希薄さ・社会的孤立・役割喪失など、社会的要因が深く関わっています。薬や治療のみでは改善しづらい為、社会参加の機会を提供する事で心身の健康を高めるという考え方が背景にあります。

2) 具体的に何を処方するのですか？

医師や看護師、社会的処方の専門役（リンクワーカー）が、本人の困りごとを聞き取りながら、以下のような活動を紹介します。

- * 趣味サークル（編み物・音楽・園芸・料理教室）
- * 運動・体操プログラム
- * ボランティア活動の参加
- * 地域の交流カフェや居場所
- * 就労支援や生活相談窓口
- * ペットセラピー・アートセラピー など

3) 利点は何ですか？

- * 心の健康改善：孤独感や不安が軽減し、うつ症状の改善が期待される
- * 身体健康向上：運動量が増え、生活習慣病の悪化予防に
- * 医療費削減：不必要な受診の減少や薬依存の抑制が期待される
- * 社会参加の促進：人間関係の再構築や役割の回復

4) 誰に向いていますか？

- * 孤立・うつ状態や不安を抱える人
- * 慢性的な病気で生活が縮こまっている人
- * 地域での繋がりが欲しい人

などに特に効果があるとされています。

5) まとめ

社会的処方とは、薬の代わりに地域との繋がりを処方する医療・福祉の新しいアプローチです。